

使用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。



お子さまの急な発熱に

こどもパブロン坐薬

第2類医薬品
〈解熱薬〉

- ◆こどもの病気は発熱から始まるといわれるほど、もっとも一般的な症状です。しかし、体力の消耗などをまねくおそれがあるので、熱を下げるのが大切です。
- ◆こどもパブロン坐薬は、お子さまの急な発熱を効果的に下げるお薬です。



使用上の注意

本剤は小児用ですが、解熱薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

- 1 次の人は使用しないでください**
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を使用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 2 本剤を使用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください**
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3 使用前後は飲酒しないでください

4 長期連用しないでください



相談すること

- 1 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください**
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 高齢者及び虚弱者。
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (5) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、下痢、軟便、便秘
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3 1回使用しても再度発熱した場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能

小児の発熱時の一時的な解熱

こんな時の発熱に



夜の急な発熱



食欲がない時



吐きやすい時



薬がのめない時

用法・用量

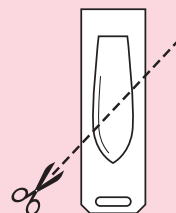
次の量を肛門内に挿入してください。

年齢	6才～12才	3才～5才	1才～2才	1才未満
1回量	1～2個 	1個 	1/2～1個 	使用しないこと
使用回数	1日1回			

[注意]

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3)本剤は、2日続けて使用しないでください。
- (4)本剤は肛門にのみ使用し、内服しないでください。

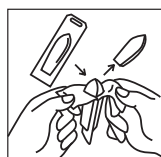
1/2個の作り方



上の図を目安に
カッター・はさみ等でななめに
切ります。

坐薬の上手な使い方

坐薬は、なるべく排便を済ませてから使しましょう。



先のとがった方から
開いてください。



膝の上に腹ばいにして、
お尻の奥まで差しこみます。



体は温かくし頭を冷やして、
しばらく様子を見てあげてください。

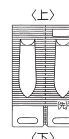
成分

1個(1g)中 アセトアミノフェン 100mg
添加物：ハードファット

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4)右図のように坐薬の先を下に向けて外箱に入れ、外箱のマークに従って立てて保管してください。
- (5)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく早く使用してください。(品質保持のため)

外箱の側面



この製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店
又は下記にお願い申し上げます。

連絡先 大正製薬株式会社 お客様119番室

電話 03-3985-1800

受付時間 8:30～17:00(土、日、祝日を除く)

※受付時間の詳細は、大正製薬ホームページにてご確認ください



大正製薬株式会社

東京都豊島区高田3丁目24番1号
<https://brand.taisho.co.jp/pabron/>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話：0120-149-931(フリーダイヤル)